

件名： やちよの会山口支部報告（第75の山登頂記）

随分陽気が良くなって、色んな花が咲き乱れ、こちらではウグイスのアカペラも随分聞かれるようになりました。

この陽気で、皆さんの体調も一段と向上し、活発な活動を続けておられることと思います。

当方、しつこい花粉症の名残があり、僅かですが鼻が詰まって、朝方は特にすっきりしません。その他の体調の方は、それなりに順調です。

ところで、GWのど真ん中に大阪・豊中に住む上の娘の子（初孫）の誕生日があり、お誕生会をすることのことで、併せて大阪狭山市に住む下の娘のところにも出かけたりと、合計6日間、都会（関西）の空気を吸ってまいりました。そのカルチャーショック（要は、遊び疲れ）が癒やされないまま、山口へ帰ってすぐ（5月8日）、地元山の会の定例会で、「大平山」（標高631M）に登ってきました。

地元公民館8時30分集合。総勢11名が2台の車に分乗し、登山口のある防府市・阿弥陀寺へ向かう。今日もここんところの黄砂があるのか、やや霞んだ空のもと、約1時間で阿弥陀寺駐車場に到着。

阿弥陀寺は、この地域で「アジサイ寺」として有名ですが、もともと東大寺再建に貢献した重源上人が建立したもので、参道を登ってすぐにある仁王門（※）は市の重要文化財、その門に立つ仁王様は国の重要文化財、更に、国宝・鉄宝塔とか重要文化財・湯屋とか見どころの多いお寺です。もちろん今回は、アジサイも季節には早く、ゆっくり国宝とかの文化財を拝見する目的でもないで通過するだけ。年月を過ぎて落ち種から出たのでしょう、わら葺き屋根に小さな紅葉の木の生える仁王門を過ぎ、前日の雨に濡れ光る石段を登って、その先の鐘楼を脇に見て過ぎると、奥の念仏堂の右手に「登山口」の標識がありました。

ここで時間は10時15分。駐車場で持参の高度計をみてみたら、約100Mでしたので残り標高約500Mです。

登山口を入ると、これも昨日の雨が効いたのか、大小のタケノコがによきによき。一般には今年はタケノコの出来が少ないらしい。境内を過ぎているから頂いていいのかも。落ち葉の積んだふかふかの山道を登って行く。全体を経過してみると、今回の山は、平行歩行は少なく、緩急はあるものの登り々々の連続でした。

登山の途中にも竹林があり、手入れもされないのか、倒れて灰色に枯れた竹が「複雑なパズルのように入り組んで、これじゃ手の施しようがない」ところもありました。

阿弥陀寺へ来る途中霞んでいた空も、登りだして40～50分もすると、青空が見えていました（※）。殆ど木の影のある登山道でしたが、身体は暑一い。今回は汗一杯の登山。他の人も汗を

流しており、後のビールが美味しかろうと言いつつ、我慢しながら登る。途中、溪流が近くを流れ、滝や溪流の音に癒されながら登る。樺の花なんかも落ちている。道を断ち切るように大きい堰堤が現れる。端を巻いて堰を越えると杉林になり、落ち葉のクッションが更に気持ちよい。自動車道に突きあたり、10分ほどアスファルト道を歩く。登山道は山の裏（北）側を登って来るが、ここで遂に、頂上にあるアンテナ銀座の風景が見えた（※）。再び、ため池の脇を過ぎて山道に入るが、ため池の浅瀬には無数の小さいおたまじゃくしが水溜まりの端に群がって、まるで黒い布のよう。最後の急登を登って、登山開始後約2時間後（12時20分頃）、無事頂上到着。

頂上から南側の防府市街地を見ると、やっぱり黄砂なのか、全体にぼんやり。その先の海の方は見えません。

藤棚の下の石のベンチ付近でランチ。白菜とパプリカの入ったサラダ風漬物、奈良漬け（それも2種類）、イカの一晩干しの軽く焼いたのや、色んな差し入れを頂き、酒の肴が一杯。持参のおかずは要らないほど。私は、食事の終り頃、このたびの関西訪問の折り奈良・薬師寺の売店で買った「鹿の鼻くそ」なるココアピーナッツ菓子を振る舞う。「鹿のふん」は知っていたが、「鼻くそ」は初めて。知ってますか？

ところで、登山道とは別に、頂上へは表（南）側からロープウェイで登れる。時期なので頂上広場で、「つつじ祭り」開催中。そのつつじは、大平山頂上付近で10万株と言うことだが、今春の冷え込みのせいか咲いているのはわずか（※）。祭りと言うことで、出店だけは頑張り中。いか焼き、うどん、コーヒー、ビール、色んな味のコロケ屋さん、更に賑わいを誘うように集団鯉のぼり（※）。つつじが僅かしか咲いてないので観光客の数も今一。出店も空振りの様相。我らはひとしきり、頂上からの展望を楽しんだり、出店のビールやコーヒーを飲んだり、人によっては昼寝を楽しんで、14時過ぎ下山開始。

もと来た道を下って行ったのです。沢蟹も二度ほど見ました。前日の雨梅雨が残っていたせいか、途中転んだ人が3人いました。私は、脚の長さが安定方向にありOKだったのですが、NGだった人達は、きっとそれが長い人達だったのでしょうか。人生、どこで幸不幸が分れるか解りません。

駐車場には16時頃、更に公民館へは17時頃到着。今回は、運転手でなかったのでゆっくりしたせいか、大阪での遊び疲れのせいか、帰途途中で車ならぬ船を漕いで過ぎました。

汗もたくさん掻いたし、歩行数はなんと14000歩を超えていたし、思いがけず結構ハードだったのです。

山口／古賀